



①



②



③



④

新年度に入り、新しいメンバーが加わって4つの介護予防教室が始まっています。『健康マージャン教室(写真①)』『音楽体操教室(写真②)』『吹き矢クラブ(写真③)』『ふまねっとクラブ(写真④)』いずれも随時メンバーを募集しています！気になる教室がある方は気軽に見学に来てください。参加されている方は本当にいつまでも若々しいです♪興味のある方はぜひ社会福祉協議会まで連絡ください。

【発行】社会福祉法人 大樹町社会福祉協議会
 【事務局】大樹町栄通 29 番地 6 大樹町福祉センター内
 【TEL】01558-6-4130
 【FAX】01558-6-4120
 【MAIL】taiki-shakyo@flute.ocn.ne.jp
 【HP】http://www.shakyo.or.jp/hp/161/

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の支援を受け発行しています。



もくじ

❖ 表紙	P 1
❖ 令和5年度事業計画	P 2
❖ 令和5年度予算	P 3
❖ ボランティアセンター通信	P 4
❖ 活動紹介	P 5
❖ 終活講演会・つながりワーカー養成講座	P 6

令和5年度 事業計画



大樹町社会福祉協議会では、今年度このような事業を展開して地域の皆様のお手伝いをしていきます。

1 法人運営事業

- 各種会議の開催
- 会員等慶弔費支給事業の実施
- 各種大会・研修会等への参加

2 福祉振興事業

- 法外援護資金、生活福祉資金の貸付
- 愛情銀行事業
- 備品貸出事業
- 高齢者交流事業の実施
- 世代間交流事業の実施
- 老人クラブ連合会助成、事務局
- 身体障害者福祉協会助成、事務局
- 手をつなぐ育成会助成、事務局
- 地域ふれあいサロン事業の推進
- 【新規】つながりワーカー養成事業
- 地域福祉活動支援事業の推進
- 日常生活自立支援事業の推進
- 不要カレンダー等の無料配付
- 歳末たすけあい事業

3 心配ごと相談所の開設

- 弁護士を招いて年2回開設
令和5年9月14日(木)
令和6年2月15日(木)に開設予定



4 ボランティア・地域活動推進事業

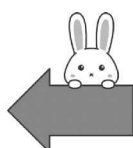
- ボランティア団体の育成助成
- 児童・生徒ボランティア活動助成
- ボランティア連絡協議会事務局
- 民生児童委員協議会助成
- 防犯パトロールの実施
- 小地域ネットワーク活動推進事業
- たいき社協ふれあい交流会の開催
- ボランティアセンターの運営
- ボランティア活動の相談や斡旋
- 地域支え合い活動推進事業
『お互いさまあーず』の実施
- 災害ボランティアセンターの体制整備
- フードドライブ事業の実施

5 調査・広報活動の推進

- 地域福祉懇談会の開催
- ホームページの整備、充実
- 社協だよりの発行

6 町の受託事業の実施

- 除雪サービス
- 福祉車両貸出
- 介護用品支給事業
- 町指定ごみ袋元売りさばき業務
- 【新規】コミュニティバス回数券
販売事務
- 介護予防・日常生活支援総合事業業務
- 福祉センター管理業務
- 介護職員初任者研修



世代間交流 農園作業 (R4.9.5)

令和5年度予算



(単位：円)

勘定科目	大		合計	
	大	中		
事業活動による収支	収入	会費収入	一般会費収入	1,050,000
		寄付金収入	寄付金収入	500,000
		経常経費補助金収入		20,171,000
		市区町村補助金収入		17,250,000
		都道府県社協補助金収入		140,000
		その他の補助金収入		500,000
		共同募金配分金収入		2,281,000
		受託金収入		34,331,000
		市区町村受託金収入		34,301,000
		都道府県社協受託金収入		30,000
	貸付事業等収入	償還金収入	150,000	
	受取利息配当金収入		5,000	
	その他の収入	雑収入	1,000	
	事業活動収入計(1)		56,208,000	
支出	人件費支出		34,092,000	
	事業費支出		3,727,000	
	事務費支出		14,839,000	
	貸付事業等支出		600,000	
	共同募金配分金事業費		810,000	
	助成金支出		2,170,000	
	事業活動支出計(2)		56,238,000	
経常活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		△ 30,000		
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0	
	支出	施設整備等支出計(5)	0	
	施設整備等収支差額(6) = (4) - (5)		0	
その他の活動による収支	収入	サービス区分間繰入金	6,849,000	
		財務収入計(7)	6,849,000	
	支出	積立資産支出	2,050,000	
		サービス区分間繰入金支出	6,849,000	
		財務支出計(8)	8,899,000	
財務活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		△ 2,050,000		
予備費支出(10)		12,883,000		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 14,963,000		
前期末支払資金残高(12)		14,963,000		
当期末支払資金残高(11) + (12)		0		

受託金(町受託事業)収入の内訳

- ◇ 介護予防・地域支え合い事業 1,012,000
 - ・福祉車両貸出
 - ・除雪サービス
 - ・介護用品支給
- ◇ 環境衛生受託事業 500,000
 - ・町指定ゴミ袋管理
- ◇ 管理業務受託事業 3,579,000
 - ・福祉センター管理
- ◇ 日常生活総合支援事業 29,200,000
 - ・介護予防教室
 - ・ふれあいサポート
 - ・地域支え合い推進
- ◇ 公共交通受託事業 10,000
- 合計 34,301,000**

主な事業と予算

(単位：円)

- つながりワーカー養成事業 500,000
- 高齢者交流事業 430,500
- 地域ふれあいサロン事業 420,000
- 小地域ネットワーク活動支援事業 400,000
- 社協だより等の発行事業 330,000
- 社協ふれあい交流会 325,000
- ボランティアセンター運営事業 250,000
- 子育て支援事業 200,000
- 心配ごと相談所の開設 67,000
- 世代間交流事業 30,000
- 老人クラブ連合会助成 100,000
- 身体障害者大樹分会助成 40,000
- 手をつなぐ育成会助成 30,000
- 地域福祉活動助成 160,000
- 小中学校ボランティア活動助成 100,000
- ボランティア団体活動助成 90,000
- 民生児童委員協議会助成 40,000



印の事業は赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



令和5年度 大樹町ボランティア連絡協議会総会

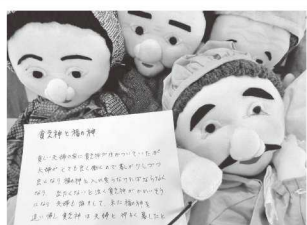
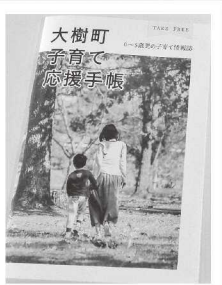
を開催しました。



4月10日にボランティア連絡協議会総会が開催され、ボランティア団体・個人登録者計53名が参加しました。会員が一同に会して開催されたのは4年ぶり。新型コロナウイルス感染症により、活動自粛を余儀なくされましたが、今年から少しずつ活動を再開し、10月には例年多くの会員が学び、交流を深める『ボランティアの集い』を予定しています。

✿左の写真は総会後の交流会「スカットボール体験」の様子

現在大樹町ボランティア連絡協議会には12団体、30名の個人ボランティア、計187名が登録しています。それぞれの団体や個人ボランティアがどのような活動をしているかを知ってもらうため、活動写真や道具、作品などを展示しました。



左：子育て情報満載の『子育て応援手帳』（作：ハッピーライフ他）
右：人形劇で使用した手作り人形（作：ポップコーン）

ボランティアさん募集中!

ボランティアセンター（社協内）では、ボランティアの受付や相談対応を随時おこなっています。活動に興味や関心がある方はぜひ一度ご連絡ください。

現在登録している団体・個人ボランティアの活動内容（一部）

- ・子ども達・ふれカフェでの紙芝居や絵本の読み聞かせ
- ・福祉施設（コスモス苑・ひかり）での補修・イベント時のお手伝い
- ・障がい者地域活動支援センター（ほっと）での調理の手伝い
- ・子ども交流・農園活動、子育てサポート
- ・地域での高齢者サロンの開催
- ・公共施設等の花植え・草取り 他



リサイクルボランティアさん募集!

リングプルがたくさん届いています。一緒に仕分けしてくれるボラさん募集中です!

～ 活動紹介 ～

手をつなぐ育成会

3月11日(土)に総会とお楽しみ交流会が開催され、会員・一般含めて10名が参加しました。令和5年度の事業計画については、昨年実施できた事業は継続して開催し、コロナ禍で中止を余儀なくされていた事業を実施していきたいとの要望が多く上がりました。

また、今回役員改選が行なわれ、水谷眞理子会長が選考の上、再任となりました。

総会終了後お楽しみ交流会を開催し、スカットボール交流会やビンゴ大会で大盛り上がりしました。



身体障害者福祉協会

3月18日(火)に総会が開催され、会員24名が参加しました。来賓として、保健福祉課の清原課長より挨拶をいただきました。令和5年度の事業計画では、コロナの影響により開催ができなかった一泊二日の研修旅行や全道大会への参加を予定していると話ができました。

今回の総会では役員改選が行なわれ、齊藤徹分会長が選考の上、再任となりました。副分会長には、長年勤めていただいた常田邦雄副分会長が退任され、新しく安部惣二郎副分会長が選任されました。山下アサ子副分会長は再任となりました。



老人クラブ連合会

4月27日(木)に女性部の総会が開催され、25名の会員が参加しました。昨年は3年ぶりに女性部会研修会を開催することができました。今年度も実施する予定としています。内容については今後役員会等で協議していくことになりました。今年度役員改選が行なわれ、藤谷正代部会長は再任となりました。副部会長には、神山麗子副部会長の後任に堀崎清子副部会長が選任され、高橋幸子副部会長は再任となりました。

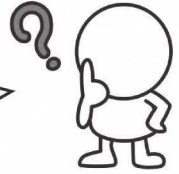


4月27日(木)に総会が開催され、50名の会員が参加しました。来賓として酒森町長、社会福祉協議会の大井会長より挨拶をいただきました。今回の総会では役員改選の報告があり、石山新一会長が再任となり、鈴木輝勇副会長の後任に新しく佐藤良法副会長が選任されました。浜頭春義副会長は再任となりました。総会終了後には、シルバー交通安全クラブの交通安全教室が開催され、釧路方面広尾警察署地域・交通課の藤田課長を講師にお招きし、交通安全講話を受講いたしました。





終活講演会開催しました



『終活ってなんだ？～その意味と注意点～』



「終活の話を知りたい」という町民さんの声をきっかけに、3月23日(休)、元北海道新聞編集委員で現在はフリーライターをされている福田淳一氏をお招きして終活講演会を開催しました。当日は50人を超える町民さんが参加され、皆さんの関心の高さを感じることができました。「終活」と聞くと、「人生を終う準備、死に支度」と一見ネガティブにとらえられがちですが、講演会では「“終活”は、悩みを解消して心配事を減らす為の役立つ知識を得ること。心の健康寿命を伸ばす手段として活用して欲しい。」と話があり、「生前整理の注意点」「エンディングノートの活用方法」「葬儀の多様な選択肢」等について説明がありました。参加者からは「最近のお葬式やお墓の話が聞けて良かった」「エンディングノートを書いてみようと思う。」等大変好評でした。今年度は「もっと詳しく聞きたい」という皆さんの声から「生前整理の仕方」「お金の終活」「葬儀の最新情報」の3つのテーマに分けてそれぞれの分野のプロにお話しをしてもらいます！ぜひ「広報たいぎ7月号」の折込チラシをご覧ください！



つながり・つなげ・見守る人



つながりワーカー養成講座を開催しています



ご近所でゴミ出しに困って
いそうな人がいるのだけ
ど、どうやって声を掛け
たらいいのかしら…？

お隣の方から困りごとを相
談されたのだけど、自分
じゃ解決できなくて…
どこに伝えたらいいのかし
ら…？



そうだね！つながりワーカー養成講座
を受けてみようかしら！
90分の動画の中で、声かけの仕方や、
どこにつなげればいいのか学べるって聞
いたわ。受講してみようっと！

つながりワーカーは地域での孤立や課題を抱えている人に『気付き、つながり、つなげ、見守る』人達のことです。お友達同士、クラブの仲間、町内会で…どなたでも無料で受講できます。出張講座も対応します！お電話（☎6-4130）お待ちしております！
※この講座は9月末までの予定です。どうぞお早めに!!



受講者様の声

- ・自分のために受講してよかった
- ・今後の活動に活かしたい
- ・企業や商店の方など多くの人にみてもらえるといい
- ・つながった後どう見守るか。もっと深く学びたいと思った

